

# 平成26年度 第4回津有区地域協議会

## 次 第

日時：平成26年8月20日(水) 午後6時30分～

会場：公民館津有分館 1階 中会議室

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

### 3 報告事項

- ・第5次上越市行政改革大綱等の策定について

### 4 議 題

- (1) 地域活動支援事業に係る意見・課題及び改善策等について
- (2) 地域活動フォーラムの事例発表候補者の推薦について
- (3) 自主的審議につなげるための津有区の現状分析について

### 5 その他

### 6 閉 会

## 地域活動支援事業に係る地域協議会からの意見・課題及び改善策等【津有区】

分類	No	意見・課題の内容	改善策	まとめ(地域協議会として意見集約) ※委員個人の意見ではなく、地域協議会としての意見を集約
提案について	1	・町内会長、民生委員など身近な人々をまきこんで、声なき声に耳を傾けるような「地域活動支援事業の提案」が必要と思う。	—	【協議会の意見として市へ報告すべきもの】 ●No.1 (必要・不要) * 左記以外の意見: [ ]
ハード事業の扱いについて	2	・ハード整備(備品購入)よりソフト面に力を入れた提案が必要。	・色々なイベントに参加しない・参加できない人、また昼間一人で家にいる人などの所に出向いて、お茶を持参して話をしたりする「出前お茶飲み会」などの提案を可能とするような仕組みをつくる。	【協議会の意見として市へ報告すべきもの】 ●No.2 (必要・不要) * 左記以外の意見: [ ]
	3	・ハード整備事業については、備品の整備が主であればよくないが、地域の活性化が図られるものであればよいと思う。	—	【協議会の意見として市へ報告すべきもの】 ●No.3 (必要・不要) * 左記以外の意見: [ ]
	4	・備品導入の事業(ハード事業)について、実績報告のみでなく、一定の額以上の案件につき、管理状況等の確認が必要と考える。	・事務仕事が増えてくるが、年に1~2回ほど実施して検証をすすめ、これからの当該事業に資するようにする。	【協議会の意見として市へ報告すべきもの】 ●No.4 (必要・不要) * 左記以外の意見: [ ]
追加募集・流用等について	5	・追加募集、残額の次年度への繰り越し、配分額の地域自治体間流用は行わない方が望ましい。(配分予算の消化につながる可能性があるため、反対である。)	—	【協議会の意見として市へ報告すべきもの】 ●No.5 (必要・不要) * 左記以外の意見: [ ]
	6	・配分額の地域自治体間流用について、公益性を拡大することとなるので導入すべきである。	—	【協議会の意見として市へ報告すべきもの】 ●No.6 (必要・不要) * 左記以外の意見: [ ]
実績・次年度の活動・継続事業について	7	・活動支援事業で、成果が認められた事業は、他の地域も一体となって活動を広げてはどうか。	・一か所の町内に止めないで、他の町内にも声をかけ、町内交流を図りながら参加者を増やしていく。	【協議会の意見として市へ報告すべきもの】 ●No.7 (必要・不要) * 左記以外の意見: [ ]
	8	・活動支援事業の実施後に、協議会として事業の評価を行う必要があると思う。	・協議会と提案団体で、意見交換会を行う。	【協議会の意見として市へ報告すべきもの】 ●No.8 (必要・不要) * 左記以外の意見: [ ]
	9	・複数年に渡る継続事業は、認めるべきでないと思う。	—	【協議会の意見として市へ報告すべきもの】 ●No.9 (必要・不要) * 左記以外の意見: [ ]

(参考) 下記については、地域活動支援事業に関する意見ではないため、今回は協議不要と思われます。

No	意見・課題の内容	改善策	—
1	・地域協議会だよりの速報版の回覧は回覧自体を目に通さない人が多く、効果は薄いと思われる。	・町内会の会合や各関連組織の会合等でPRや協議する場を設けることが必要である。	—
2	・諮問事項の範囲は公の施設等に大きく関わる問題を除いて、当該区に関わる事項に限定すべきである。	・地区の問題に関しては答えありきでなく、最善策を深掘りするのがよいと思われるが、時間との関連も考慮して事務局に準備を入念にもらうのがベターである。	—
3	・委員の定数、任期、報酬について。	定数の下限を高め設定して改選時に、その都度見直すのがよいと思う。任期も4年が適当だが、次回の公募の時は、若年層、及び女性の委員を多く取り込める仕組みが欲しい。報酬については費用弁済はそのままとして、研修の場、視察の補助等、資質の向上に寄与する会合については、各地域協議会に対しての補助があった方がよいと思う。	—

地域活動支援事業(津有区)採択事業一覧表

資料No3

《 順不同 》

年度	No	事業の名称	団体等の名称	採択額 (単位:千円)	事業内容
H25	1	「地域を元気に!」雄志太鼓活動支援事業	雄志中学校区青少年育成会議	84	劣化が進んでいる雄志太鼓のはっぴを新調し、各地域行事やイベントにおいて演奏を披露した。
	2	地有北部地区スポーツクラブ夏祭り開催事業	津有北部地区スポーツクラブ	548	子どもから高齢者まで気軽に参加できる津有北部地区の夏祭りを開催するにあたり、テント及びはっぴを新調し、より祭りを盛り立てた。
	3	下富川地区子供健全育成事業	下富川町内会	345	下富川地区の「子ども公園」にある老朽化の進んだすべり台を更新し、ベンチを新たに設置した。また、子ども会による交流会を開催した。
	4	上雲寺地域活動活性化事業	上雲寺小学校最寄会	434	地域の活性化の原動力となっている子どもから大人まで参加できる地区の行事を安全で安心して行えるように、テントを購入し、より地域の行事を盛り立てた。
	5	上雲寺小学校 課外活動支援事業	上雲寺小学校最寄会	1,227	学校と住民との相互理解と親睦を深め、教育の振興を図るために、長い歴史と伝統のある上雲寺小学校金管バンドの楽器を新調し、各種イベントで演奏を披露した。
	6	上雲寺地域景観美化・景観保全事業	上雲寺小学校最寄会	269	長い歴史と伝統のある上雲寺小学校の黒松・赤松の剪定を行うとともに、親子で除草作業を行った。
	7	文化財等の掘り起し事業	津有地区地域づくり協議会	917	23,24年度と地域の歴史資源について立看板を設置したものについて、紙芝居を作成し、園児・児童を対象に実演を行うとともに、紹介誌を作成し広く周知を図った。
	8	野尻・稲区防災力活性化事業	稲町内会	993	劣化の進んでいる野尻・稲地区の消火ホース格納庫を更新するとともに、地域住民を対象にした防火・防災教室を開催した。
	9	津有区地域づくり事業	津有地区地域づくり協議会	410	地域住民全体を対象とした諸活動を通じて、地区住民の一体感の醸成を図ることを目的に、文化祭、健康ウォーク、生活環境改善学習会を開催した。
H26	1	野尻・稲地区高齢者いきいき事業	野尻・稲福寿会	233	高齢者の健康維持や生活機能の低下を防ぎ、元気で自立した高齢者が多いまちづくりを目指し、健康・食育・趣味等の講習会や地域の子どもたちとの共同作業で花壇作りを行う。
	2	津有地区地域づくり事業	津有地区地域づくり協議会	450	地域住民全体を対象とした諸活動を通じて地区住民の一体感の醸成を図ることを目的に、文化祭、健康ウォーク、生活改善学習会を開催する。
	3	H26 津有北部地区スポーツクラブ夏祭り事業	津有北部地区スポーツクラブ	410	子どもから高齢者まで気軽に参加できる津有北部地区の夏祭りを開催するにあたり、新たにアイスシェーバー、鉄板焼き機を購入し、より祭りを盛り立てていく。
	4	地域全体で行うあいさつ運動事業	雄志中学校区青少年育成会議	132	あいさつを通じて、家庭・学校・地域で、大人と子ども、大人同士、子ども同士のコミュニケーションを広げる。
	5	上雲寺小学校創立140周年記念事業	上雲寺小学校最寄会	911	上雲寺小学校創立140周年の記念事業として、児童・保護者及び地域住民により陶板を作成し校舎内階段壁面に設置する。また、校歌のオルゴール、記念写真がプリントされたファイル、記念要覧を作成し配布することで、地域の活性化及び児童の健全育成につなげる。
	6	公共花壇管理による世代間交流事業	戸野目長寿会	824	戸野目小学校の児童と戸野目長寿会と一緒に公共花壇の花苗・球根等の定植を通し世代間交流を行う。また、作業に伴い公共花壇の整備・改修及び定植に必要な用具の購入を行う。
	7	安全安心な地域防犯力の向上活動事業	津有地区町内会長協議会	1,954	津有地区住民の安全安心を確保するため、各町内会管理の防犯灯をLED灯に交換するとともに、防犯パトロールの強化及び危険個所の点検等を行い、地域の防犯をより良くする。
	8	戸野目スポ少 既存道具の老朽化に伴う道具更新と新規道具購入の事業	戸野目スポーツ少年団	450	長期使用に伴い老朽化が目立つ野球道具の購入及び、バレー指導者のユニフォームの新調を行い、各種大会に参加する。
	9	桐原地区子ども健全育成事業	桐原町内会	536	公園に子どもたちが安全安心して遊べるすべり台を設置し、また、保護者同士の交流や高齢者及び子どもたちが休憩するためのベンチを設置し、住民同士のコミュニケーションの場をつくる。

※網掛け部分は、12月中旬までに事業の完了が見込めない事業です。  
 ※H25年度については、市が行う事業は省いています。

## ■□自主的審議につなげるための津有区の現状分析について□■

### ○前回（7月7日開催）会議での発言内容について

今までは「津有区のイメージアップと活性化に向けた方策」を検討テーマとし、具体的には「県立武道館の誘致」について、市の体育課から説明を受けてきました。しかし、今後は県立武道館の状況について情報収集をしながら、別の検討テーマで自主的審議を進めていくこととしました。

そこで、前回の会議では「今後取り組みたいテーマ」について各委員から意見を発言していただきました。その時に出た意見を下記のとおりまとめました。

#### ■ 少子高齢化について

- ・ 小学校、中学校と接している中で、児童数や生徒数が年々着実に減ってきている。  
人の流れや時代の流れを変えることはできないかも知れないが、何か意見はないかと、提示することができればよいと思う。
- ・ 高齢者の健康維持増進に向けた地域づくりを行う取組みを検討したい。  
どこの集落も、寝たきり老人や高齢者のみの世帯が増加しているので、健康づくり等も町内で協力して行えるようにしていきたいと思う。
- ・ 実際に高齢者とふれあう機会があるが、参加する人が決まっっていて、人数も集まらない。  
家に閉じこもっている高齢者が多いのではないかと思うので、高齢者が地域で集まるような機会をつくれたらよいと思う。
- ・ 地域の中で「自主防災組織」を立ち上げたが、役員や関係者等決まった人しか参加していない。  
高齢者にも顔を出してもらいたい。
- ・ 「少子高齢化」の特に「少子」について、子どもが生まれないのが現実。  
地域の中で期待できる人はいるので、公で出会いの機会等をつくれればよいと思う。
- ・ 高齢化について対策が必要。  
行政でも対策はしているが、地域でも対策等について話をしていきたいと思う。
- ・ 少子高齢化に対応する方策を検討したい。  
老若男女がいろいろな意見を交わせる場をつくったり、そのような組織をつくってはどうか。  
少子高齢化の対策を考える中で、「北部・南部の住民の一体感を醸成する取組み」についても、合わせて検討してはどうか。
- ・ 高齢者が多く、子どもが少ないという地域が多い。  
町内会の集まり等は、皆に参加してもらえようようにすることから始めていかないと、何も伝わらないのでは。

※裏面へ続きます。



### ■ 「前島密」について

- ・「前島密翁を顕彰する会」とタイアップして、協議会として手助けをしたり、勉強会を開くなどして、進めてはどうか。
- ・地域の皆で「前島密」について勉強して、前へ出して行ってはどうか。
- ・「前島密」について、地域の中でも知らない人がいるので、紙芝居をつくってはどうか。

### ■ 住民の意識改革について

- ・「住んでいる人が自分の住んでいる所を良くしようとする」という根本的な意識改革が大事だと思う。
- ・「県道や市道も自分の家の繋がり」という感覚で掃除を当たり前のように行う場所もあれば、企業がボランティアという形で道路の掃除を行っている場所もある。  
「自分たちの住んでいる場所なのだから、人任せにせずに、自分たちも企業の方と一緒にやる」という意識が大切だと思う。

### ■ その他

- ・最終的に協議会の意見が反映されるようにしていきたい。
- ・皆で真剣に話し合っているのだから、何か形として結果になればよいと思う。